

令和2年度上半期基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター業務報告

【包括的支援事業】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
総合相談支援業務	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築 【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 主に、庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の相談支援 <在支・包括> 主に、在宅の方の相談支援	・引き続き、相談対応については重点をおいて取り組みを実施。相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料5-2の2~5ページ参照。 ・熱中症予防シートを活用した実態把握については以下のとおり。 (内容) ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シートを配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。あわせて、地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。 <配布実績> 民生児童委員 500 枚、ケアマネジャー1,290 枚、基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センター等 360 枚、計 2,150 枚 ※配布結果についてアンケートを実施 <配布期間> 令和2年5月下旬~9月 30 日	
	要介護認定の新規申請者の実態把握及び台帳作成 【継続】	令和2年度 継続	<在支・包括> 主に、在宅の方の相談支援	平成2年4月~令和2年9月までの在宅介護・地域包括支援センターの要介護認定調査件数 ・ゆとりえ 250 件 ・吉祥寺本町 86 件 ・高齢者総合センター 328 件 ・吉祥寺ナーシング 146 件 ・桜堤ケアハウス 298 件 ・武蔵野赤十字 108 件 在宅介護・地域包括支援センター 合計 1,216 件	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
総合相談支援業務	介護サービス未利用者の定期的な実態把握【継続】	令和2年度継続	〈在支・包括〉 介護サービス未利用者の生活実態を定期的に把握し、必要時に適切な介護予防事業や支援につなげる。	資料5-4参照	
権利擁護業務	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修の実施【継続】	令和2年度継続 年4回	〈基幹型〉 研修会の方向性及び内容の検討、研修会の開催 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、研修内容の検討、研修会の実施	高齢者虐待対応研修会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期は実施なし。	
	市民に対する虐待防止に関する普及啓発の実施【継続】	令和2年度継続	〈基幹型〉 普及啓発方法の検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して普及啓発を行う	社会福祉士連絡会で、地域での見守り・孤立防止チラシについて、検討・作成。 令和2年10月に配布。配布先：老人クラブ、民生児童委員、地域福祉活動推進協議会、見守り・孤立防止ネットワーク連絡会関係団体、多摩信用金庫、市議会議員等 7,000部	※10月以降の実績含む
	高齢者及び障害者虐待防止連絡会議の実施【継続】	令和2年度継続 年2回	〈基幹型〉 ・障害者福祉課と共催で開催 ・関係各課や機関とともに、虐待防止の取り組みについて検討 〈在支・包括〉 ・会議に参加 ・ネットワークを活用した個別支援	【参加団体】武蔵野警察署、多摩府中保健所、地域活動支援センター地域生活支援センターびーと、地域活動支援センターライフサポートMEW、地域活動センターコト、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護・地域包括支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課、子ども家庭支援センター、 第1回 令和2年7月13日(月) 書面開催	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
権利擁護業務	見守り・孤立防止ネットワークの強化(孤立防止に加え、消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化)【継続】	令和2年度継続 連絡協議会の開催年2回	<基幹型> 関係各課や機関と連携して開催 <在支・包括> ・会議に出席 ・ネットワークを活用した個別支援	【参加団体】東京都住宅供給公社、都市再生機構、東京都宅地建物取引業協会武蔵野中央支部、多摩新聞販売同業組合武蔵野支部、東京ガス株式会社西部支店、東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社、武蔵野市シルバー人材センター、武蔵野郵便局及び市内郵便局代表、水道部、武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会、弁当宅配業者、ヤマト運輸株式会社、生活協同組合コープみらい東久留米センター、生活協同組合パルシステム東京、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、武蔵野市商店会連合会、第一生命株式会社、明治安田生命保険相互会社、東都生活協同組合、東京ハイヤー・タクシー協会武三支部、武蔵野警察署、武蔵野消防署、武蔵野市医師会、東京都武蔵野市歯科医師会、武蔵野市薬剤師会、武蔵野市柔道整復師会、武蔵野市民生児童委員協議会、武蔵野市民社会福祉協議会、在宅介護・地域包括支援センター、健康福祉部各課、防災安全部安全対策課、子ども家庭部子ども家庭支援センター、都市整備部住宅対策課、市民部生活経済課 ・第1回:令和2年9月18日(金)書面開催	
	エンディング(終活)支援事業【継続】	令和2年度継続	<基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度上半期はエンディング出前講座の実施を中止し、各所でのエンディングノートの配布のみ行った。 (出前講座は令和2年10月より実施を再開した。)	
介護予防ケアマネジメント業務	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメントの実施【継続】	令和2年度継続	<基幹型> ・武蔵野市独自様式の評価 ・介護予防検討会議の実施(事業対象から要支援1・2の方の個別地域ケア会議) ・サービス担当者会議への出席等によりケアの質を維持向上	ケアプラン作成件数等については資料5-2の9ページを参照	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
包括的・継続的マネジメント支援業務	主任ケアマネジャー研修の実施【継続】	令和2年度継続 年1回	<基幹型> 研修企画・開催 <在支・包括> 基幹型と連携して研修を企画・開催	主任介護支援専門員研修を開催 目的:1 居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員の役割として スーパーバイズができること 2 コロナ禍においては感染症拡大予防対策も行いながら、主任介護支援専門員としての役割を果たすこととなるため、オンラインでの研修を開催することにより、対面に限らない方法を学ぶ 日時:令和2年9月 28 日(月)午後4時～午後5時 30 分 方法:オンラインによる開催 テーマ:「スーパーバイズの視点と実践をオンラインで学ぶ」 講師:日本ケアマネジメント学会 相田里香氏 参加者:49 名	
地域ケア会議推進事業	ケアプラン指導研修の実施【継続】	令和2年度継続 年12回 [個別ケース検討件数: 年114件]	<基幹型> 研修委員会の運営 <在支・包括> 委員として出席	介護支援専門員から提出されたケアプランをもとに基幹型地域包括支援センター、在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員等、武蔵野市住宅改修・補助器具相談支援センターに所属する専門職(OT、ST、排泄ケア専門員)、保険者で構成するケアプラン指導研修委員が、「ケアプランの質の向上」を目的とした評価会議を開催。評価会議の結果を事例提出者へ面接により伝える。 第1回令和2年4月 22 日(水) 事例数 9 (書面開催) 第2回令和2年5月 27 日(水) // 9 (書面開催) 第3回令和2年6月 17 日(水) // 8 第4回令和2年7月 15 日(水) // 10 第5回令和2年8月 26 日(水) // 12 第6回令和2年9月 16 日(水) // 13 合計 61 事例(ケアマネジャー61名) ケアプラン研修フォローアップ研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議推進事業	地区別ケース検討会における事例検討の実施【継続】	令和2年度継続 年 30 回 (各センター年5回) [個別ケース検討件数: 年 30 件]	<p>〈基幹型〉 地区別ケース検討会の開催支援</p> <p>〈在支・包括〉 ・地区別ケース検討会の開催 ・事例検討のスーパーバイズを居宅介護支援事業所と連携して実施</p>	<p>ゆとりえ(東部第1)</p> <p>① 令和2年7月 16 日(木) 事例検討『精神疾患で入退院を繰り返す独居女性が、家族に頼らず安心して暮らすには』</p> <p>② 令和2年9月 17 日(木) 事例検討『認知症 BPSD 傾向のある R さんが妻と共に在宅生活を継続するに』</p> <p>吉祥寺本町(東部第2)</p> <p>① 令和2年8月 12 日(水) 事例検討『多問題事例から多職種連携を考える』</p> <p>② 令和2年9月9日(水) 事例検討『意思決定が困難な利用者に対してケアマネジャーがサービスを判断する時』</p> <p>高齢者総合センター(中央第1)</p> <p>① 令和2年8月 21 日(金) 事例検討 A『家族のいない 98 歳の難聴の一人暮らしの女性の緊急対応について』 事例検討 B『母親と夫の二人を介護する娘をCMとしてどのように支援していくか』 事例検討 C『一人暮らしの認知症状がある利用者の生活を支える～コロナ感染がある中で～』 事例検討 D『物忘れ症状があるが、活動的で就労意欲の高い女性ができる役割とは』</p>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議推進事業				<p>② 令和2年9月 18 日(金) 事例検討 A『関節リウマチによる変形や痛みがあるのに通院拒否。この方を通院へ繋げるには』 事例検討 B『キーパーソン不在。精神疾患ある家族と暮らす不安』 事例検討 C『夫婦喧嘩が絶えない、夫婦二人暮らしの生活をどう支えていくか、ケアマネとしての対応は』 事例検討 D『認知症徘徊利用者の在宅生活を支える』</p> <p>吉祥寺ナーシングホーム(中央第2)</p> <p>① 令和2年8月 20 日(木) 事例検討『「ケアマネは小間遣い？」～過大な要求をする家族への対応～』</p> <p>② 令和2年9月 10 日(木) 事例検討『家族それぞれが主導権を握りたがり、一度決めた方針をひっくり返すため必要な支援までに時間がかかってしまうケース』</p> <p>桜堤ケアハウス(西部第1)</p> <p>① 令和2年9月 15 日(火) 事例検討『キーパーソンの家族と関わりづらい方への支援』</p> <p>武蔵野赤十字(西部第2)</p> <p>① 令和2年8月 20 日(木) 事例検討『デイケアを希望する本人と必要がないという主治医との間でケアマネジャーはどう調整したらよいか』</p> <p>② 令和2年9月 17 日(木) 検討『脳梗塞後の本人を受け入れられない家族。の間に入るケアマネジャーはどうしたらよいか』</p>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議推進事業	個別地域ケア会議の開催【継続】	令和2年度 継続 年18回(各センター年3回)	〈基幹型〉 開催方法の検討・整理 〈在支・包括〉 会議開催	資料5-3 2~6ページ参照	
	エリア別地域ケア会議の開催【継続】	令和2年度 継続 年6回 (各センター年1回)	〈基幹型〉 開催支援 〈在支・包括〉 会議開催	資料5-3 7~8ページ参照	
	全市的地域ケア会議の開催【継続】	令和2年度 継続 年1回	〈基幹型〉 会議内容について関係課と調整等 〈在支・包括〉 会議に出席	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 多職種連携推進・研修部会 事前研修会及び合同研修会を開催 事前研修会 日 時:令和2年11月13日(水)午後7時~8時30分 場 所:オンライン (事務局:武蔵野市役所111会議室) 講 師:角田ますみ(杏林大学保健学部准教授) 内 容:もしもの時を話し合うアドバンス・ケア・プランニング 医療・介護・福祉・地域みんなで支える意思決定 参加者:各事業所連絡会及び三師会より参加希望者 計110名	
在宅医療・介護連携推進事業	「脳卒中地域連携パス」等、多職種連携のツールの検証や活用する方策の検討【継続】	令和2年度 継続	〈基幹型〉 地域支援課と連携して方策を検討 〈在介・包括〉 基幹型と連携して方策を検討	・脳卒中地域連携パス運用実績 73件	※10月以降の実績含む

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療介護連携支援室（武蔵野市医師会）と協働した医療介護連携の取組推進【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応 <在支・包括> 医療介護連携に関する相談機能を強化	武蔵野市在宅医療介護連携支援室（平成 27 年 7 に武蔵野市医師会内に開設）の活動実績 ・相談件数:174 件 相談内容:在宅療養調整 44 件、入院入所調整 8 件、退院支援 8 件、転院支援 5 件、COVID93 件、MCS10 件、その他 6 件 相談元:ケアマネジャー41 件、医療機関 79 件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター23 件、通所系 0 件、訪問看護 3 件、施設系 2 件、訪問介護 1 件、その他 25 件 ・訪問件数:84 件 訪問先:医療機関 13 件、ケアマネジャー6 件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター3 件、通所系 0 件、訪問看護 5 件、有料老人ホーム 6 件、施設系 1 件、訪問介護 0 件、他区市連携支援室 0 件、その他 2 件、PCR 検査センター48 件	
	入退院時支援・在宅医療介護連携の調整【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 武蔵野市医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 <在支・包括> 連携・相談の強化	・武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の入退院支援部会の部会員として参加。 そこで令和元年度作成した「入院時の情報連携シートの活用」の活用状況について確認。 また、身寄りのない方の入退院時の対応について好事例を活用して、医療・介護それぞれの立場から意見交換を行った。次年度も継続して、仕組み作りを行う。	
	摂食嚥下支援体制の整備・推進【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 武蔵野市歯科医師会・関係機関と連携・調整 <在支・包括> ・研修の広報周知への協力等	・ケアマネジャー等支援者に対し、摂食嚥下に関する相談窓口の明確化と、オーラルフレイル予防を含む摂食嚥下支援の普及啓発手法やツールの検討等を行い、摂食嚥下に対する意識の醸成を図ることを目的に研修会を開催予定。	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターを中心とした地域の自主的な取組みの支援【継続】	令和2年度継続 地域住民が自主的に運営する多様な通いの場を支援	<基幹型> 第2層の後方支援 <在支・包括> 「いきいきサロン」等の社会資源の立ち上げ支援、事業の継続・発展支援	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場(テンミリオンハウス、いきいきサロン、健康やわら体操、不老体操、地域健康クラブ)への参加者実人数(上半期) テンミリオンハウス 683 人(登録者数)、いきいきサロン 392 人(登録者数)、健康やわら体操 27 人、不老体操 449 人、地域健康クラブ 1,022 人 計 3,182 人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止していたいきいきサロンの再開に向けて、新型コロナウイルス感染症対策ガイドを作成等、サロンの再開支援を行った。 	
	生活支援サービス整備に関する定期的な情報共有や連携強化等のための協議体の運営【継続】	令和2年度継続	<基幹型> ・第1層(市全体レベル)の協議体として位置づけている「地域包括ケア推進協議会」の開催、報告 ・生活支援コーディネーター連絡会議の開催 <在支・包括> ・生活支援コーディネーター会議に出席 ・各地域での協議会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進協議会(第1層協議体)を令和2年6月4日(木)に書面開催。 ・生活支援コーディネーター連携会議 第1層及び第2層の生活支援コーディネーターによる会議を定期的に行われ、地域の自主的な取組みや、生活支援コーディネーターの活動を通しての地域課題等についての情報共有、検討を行った。 今年度は新型コロナウイルス感染症により5月分を6月に書面開催。7月、9月は開催した。 	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
認知症総合支援事業	認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）の配置による認知症連携の強化【継続】	令和2年度 継続	<p>〈基幹型〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在支・包括の後方支援 ・武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センターや武蔵野市医師会と連携した認知症初期集中支援チームの支援により、適切な医療・介護につなぐ <p>〈在支・包括〉</p> <p>認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）を市内6か所の在宅介護・地域包括支援センターに配置 ・保健師等連絡会議（旧認知症コーディネーター会議） 在宅介護・地域包括支援センターの保健師による会議を定期的開催し、認知症に関する地域づくりや支援体制の整備について議論を行う。年6回実施。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症により4月は開催中止。6月、8月をオンラインにて開催した。 ・認知症アウトリーチチーム実績 該当ケースなし（初期集中支援の中で、医療機関への連絡調整、受診手配、かかりつけ医との連携等を行うことで対応したため。） ・認知症初期集中支援チーム実績は、チーム支援実施4件（全事例において、チーム支援検討会議にてチーム支援適応の有無を確認） ・認知症相談 認知症に関する相談に応じて適切な医療・介護につなぐ。 ・認知症サポーターステップアップ講座 意欲ある認知症サポーターが、地域で暮らす認知症の方とその家族を支えるために必要な具体的知識やスキルを習得し、自主的な地域支援活動に取り組むきっかけをつくる講座を開催。 	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
認知症総合支援事業	在宅医療・介護連携推進協議会 認知症連携部会の運営【継続】	令和2年度 継続 年3回程度	〈基幹型〉 会議開催 〈在支・包括〉 会議に参加	<ul style="list-style-type: none"> 医師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、居宅介護支援事業者、認知症対応型通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員などで構成。 認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項のうち、主として以下の事項について検討することを目的とし、年2～3回程度開催。 <ul style="list-style-type: none"> ○第1回部会：令和2年12月8日オンライン開催 部会員15名出席。 昨年度第2回部会にて部会長より提案のあった事前提出課題（職種毎の認知症ケアにおける得意なこと等）について、各部会員から提出を得た内容を集約した資料を基に質疑応答や意見交換を行った。 ○第2回部会では事例研究会を開催することとし、2月中の開催に向け調整を行うこととした。 	※10月以降の実績含む
	もの忘れ相談シートの活用促進【継続】	令和2年度 継続	〈基幹型〉 シートの活用・周知等 〈在支・包括〉 認知症相談や認知症症状で医療機関を受診する際に、物忘れ相談シートを積極的に活用	<ul style="list-style-type: none"> ○もの忘れ相談シート活用件数－合計32件活用 ・認知症相談-24件（在支・包括実施分）、6月疾患医療センターによる相談会-8件、9月休日相談会（中止）、電話相談会-2件 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、例年9月の認知症を知る月間中に行う医師会による休日相談会は中止とし、認知症予防財団の専門相談員による電話相談を4日間実施した。 	
	認知症相談事業の実施【継続】	令和2年度 継続	〈基幹型〉 ・相談会の開催 ・相談会から見える課題とその課題を解決するための検討 〈在支・包括〉 相談会に同席し、助言を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・月3回、市役所または在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症予防財団相談員による認知症相談を実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4、5月は中止とし、6月より電話相談も可として再開した。 相談件数:24件 ・医師会と協働した認知症相談の実施 9月の「認知症を知る月間」における医師会の医師（もの忘れ相談医）による休日相談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止。 令和3年3月28日にもの忘れ相談医による休日相談会を開催予定。 ・認知症疾患医療センターと協働した認知症相談の実施 令和2年6月26日に認知症疾患医療センターによる無料相談会を開催。 相談件数:8件 	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チームの運用【継続】	令和2年度継続	<基幹型> 認知症初期集中支援チームの評価 <在支・包括> 認知症初期集中支援チームの運用	・令和2年度4件実施 本人・家族、かかりつけ医、認知症サポート医、武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センター相談員、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり認知症の方々の課題解決のため取組をした。	
	認知症に関する普及・啓発【継続】	令和2年度継続	<基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を実施	・認知症サポーター養成講座の実施 講座開催数:5回(内:定例実施2回) 延受講者数:89名 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、5、6月に予定していた一般向け講座を中止。 ・認知症サポーターステップアップ講座の実施(連続講座) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から内容を精査し、例年5回の連続講座とするところ3回に減じて開催。 第1回(動画講座※) 27名 第2回(認知症の方への声かけ講座) 19名 第4回(当事者によるお話し) 28名 ※ 会場での視聴の他、オンラインでも実施 ・地域認知症講座の実施 例年、コミセンにて開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一時中断し、当該講師による動画講演を「認知症を知る月間」期間中にHPにて公開(現在も公開中)したほか、DVD化し、当課及び中央図書館にて貸し出し対応中。 講師:繁田雅弘氏(東京慈恵会医科大学精神医学講座教授)	

【指定介護予防支援事業】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
指定介護 予防支援	介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関と連絡調整【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施 <在支・包括> 指定介護予防支援事業所として受託	・介護予防マネジメント(事業対象者)および介護予防サービスの利用者のサービス担当者会議には全件参加。 ・ケアマネジャーによる、自立支援に資するケアマネジメントが提供されるよう、毎週1回基幹型包括で介護予防検討会議を実施し、18回208件の検討を行った。	

【一般介護予防事業】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
一般介護 予防事業	介護予防普及啓発事業【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 普及啓発事業の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及・啓発を実施	資料5-2 14ページ参照	

【新型コロナウイルス感染症対策】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策研修の実施	令和2年度新規	〈基幹型〉 研修会の実施 〈在支・包括〉 居宅介護支援事業所として参加	・感染症及び感染症対策の基礎知識について研修会を実施 対象:居宅介護支援事業所 令和2年8月12日(水) 411 会議室 9名 オンライン 11名 令和2年8月14日(金) 412 会議室 9名 オンライン 8名	
	高齢者の実態把握の実施	令和2年度新規	〈基幹型〉 実態把握の実施 〈在支・包括〉 実態把握の実施	・総合事業対象者、要支援1・2認定者、緊急通報システム利用者、そのほか在宅介護・地域包括支援センターが、実態把握が必要と判断した高齢者を対象として、在宅介護・地域包括支援センター、基幹型地域包括支援センター職員が電話または訪問による実態把握を実施。 ・令和2年4月～5月緊急事態宣言中実績 基幹型地域包括支援センター 318件(電話 264件、訪問 54件)、 在宅介護・地域包括支援センター 1,245件(電話 1,214件、訪問 31件)	
	フレイル予防普及・啓発	令和2年度新規	〈基幹型〉 普及啓発の検討・実施 〈在支・包括〉 普及啓発の実施	・フレイル予防普及啓発チラシ作成・配布 令和2年6月21日「武蔵野安心・安全ニュース」の発行に合わせ、フレイル予防啓発チラシ作成し、同時配布 7,000部 (配布先:老人クラブ、民生児童委員、地域福祉活動推進協議会、見守り・孤立防止ネットワーク連絡会関係団体、多摩信用金庫、市議会議員等)	
	いきいき生活度チェック	令和2年度新規	〈基幹型〉 企画立案・実施 〈在支・包括〉 実施	・感染症対策のため通所サービス利用を休止している総合事業対象者、要支援1・2認定者を対象に、面談による「いきいき生活度チェック」*及び、「フレイル予防チラシ」配布による日常生活面のアドバイスを実施。 *東京都健康長寿医療センター研究所が作成しているフレイルチェック表に市独自でチェック項目を追加したもの ・いきいきサロン利用者に対して、「いきいき生活度チェック」を実施した。	